「人形劇のまち飯田」の季刊情報誌

Dogushi

胴串 ーどぐしー

Summer 2021

Vol.34

特集

突撃!! 人形劇のゲ・ン・バスペシャル！

いいだ人形劇フェスタに向けて 奮闘する市民劇団

Dogushi Vol.34 2021年7月発行 発行：「人形劇のまち飯田」運営協議会
制作：NPO法人 いいだ人形劇センター 〒395-0044 長野県飯田市本町1-2 TEL050-3583-3594 FAX0265-52-3594 E-mail:iida-puppet-c@mis.janis.or.jp

掲示板 いいだ人形劇センターからのお知らせ

夢見る真夏のくるみ割り人形展

2019年・20年のクリスマスシーズン、大阪・阪急うめだ本店のショーウィンドーに飾られた『くるみ割り人形』の展示の一部が飯田にやってきます。
チェコ在住の舞台美術家・林由未さんを中心に製作された人形たち100体が、飯田市川本喜八郎人形美術館3Fスタジオに展開されます。真夏に出あえる不思議な世界をお楽しみください。

●会　期／7月31日(土)～10月3日(日)
●開館時間／午前9時30分～午後6時30分
（入館は午後6時まで）
●休館日／水曜
●入館料／一般400円、小中高生200円
※8月5日～8月8日はいいだ人形劇フェスタ2021の参加証ワッペン着用でどなたも入館無料です
●問合せ／飯田市川本喜八郎人形美術館
☎0265-23-3594

Dogushi

並木さんぽ

2年ぶりの開催となる「いいだ人形劇フェスタ」。全国から劇団のみなさんや観劇の方々をお迎えできないのはとても残念ですが、次へつながる一歩として、重要なことと考えています。40年余の歴史ある飯田のフェス。今年はこれまで以上に地元の方が興味を持ち、参加するものになってほしいと思います。
次号は2021年10月発行予定です。(帆)

表紙画:井原千代子

いいだ人形劇フェスタ2021参加証ワッペンの看板が、飯田市公民館前と飯田市営今宮球場に掲示されました。飯田の地場産業を代表する“水引”のデザインが目を引き、フェスタを通した人と人、心と心の「結びつき」「つながり」が表現されています。

第14回 AVIAMA 人形劇でつながる世界の都市

セビリア（スペイン）

スペイン南部の政治・経済・文化の中心地で、スペイン第4位の人口を持つ都市です。日本ではセビーリャなどとも呼ばれます。

古くから港湾都市として栄えたセビリアは、闘牛やフラメンコの本場として知られ、中世にはイスラム王朝に支配されていた歴史があります。そのため、キリスト教文化とイスラム文化が融合した独特な建築物が存在し、現在でも世界遺産のセビリア大聖堂にはモスクの名残を見ることができます。また、17世紀を代表する絵画の巨匠ベラスケスやムリーリョの生誕地でもあります。

セビリアで40年続く人形劇フェスティバルは、市議会が設立されて以来最も古い文化活動であり、スペインで最も古い人形劇フェスティバルでもあります。家族や若者、大人といった幅広い対象に、劇場や街頭での公演、パレード、展示、ワークショップなどさまざまなプログラムが提供されます。

大勢の観客でにぎわう街頭公演

突撃 人形劇のゲ・ン・バ スペシャル! Part 28

いいだ人形劇フェスタに向けて奮闘する市民劇団

いいだ人形劇センターが主催する市民向けの人形劇講座。今年度は6つの劇団が参加し、8月のいいだ人形劇フェスタに向けて人形づくりや稽古に励んでいるという情報をキャッチ!早速〝ゲ・ン・バ〟へ直行しました!

鼎中学校人形劇部「のん」〈ユースクラブ〉

「にゃんにゃん学園!大運動会!!」

1年から3年まで10人という大所帯。「全員が出演し、客席まで巻き込んだ楽しいお話しを書いています」と台本担当の3年生・元島はるかさん。頭脳派と運動派のチームに分かれて行われる運動会はいくつもの動物が登場。部員それぞれが個性あるキャラクターを演じます。

8月8日(日)10:00 鼎小学校第一体育館

飯田東中学校りんご劇団〈ユースクラブ〉

「三びきのやぎのがらがらどん」

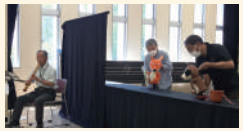
1・2年生3人構成のため、全員が重要な役割を分け合って担当します。「デザイン画を描く、工具を使ったものづくりなど、それぞれが得意なことをいかしてやっています」と話す部長の北澤響子さんは台本づくりを担当。フェスタまでの限られた時間の中、部活に講座にと全力投球です。

8月7日(土)10:00 羽場公民館／8日(日)10:30 東野公民館

シニア大学人形劇団ふたご座〈中級コース〉

「お日様、お月様、夕立様」「ぶす」

飯伊シニア大学で知り合い、全員ふたご座生まれの3人組。これまでにつくった2作品に磨きをかけるとともに、「ぶす」には尺八の演奏を取りいれる新たな試みに挑戦。「繰り返しの稽古が、本番にあらわれますから」と額の汗をぬぐいながら代表の森山幹夫さんは話してくれました。



8月5日(木)10:00 飯田子供の園保育園／6日(金)15:30 飯田文化会館1F

くまっこや一座〈中級コース〉

「三びきのやぎのがらがらどん」

北安曇郡松川村から飯田へ定期的に通い、人形づくりに励む松田晶弘さん。地元の仲間と一緒に上演するための作品づくりを日々続けています。新型コロナウイルスの影響で数カ月講座に参加できなかったこともあり、今夏フェスタでの上演は叶いませんでしたが、冬以降の人形劇定期公演での成果発表を目標にこれから稽古へ入ります。

おはなしグループでんでんむし〈中級コース〉

「おたまじゃくし海へ行く」ほか

「今夏、フェスタが開催されると聞き、大切につくってきた作品がやっと上演できると思うとうれしくて」と話す代表の上沼則子さん。人形・小道具などがとても丁寧につくられており、現在は演技について学んでいます。

8月7日(土)10:00 おさひめチャイルドキャンプ
13:30 伊賀良公民館講堂

ころぼっくる〈初級コース〉

新作「ももたろう」

昨年、新型コロナウイルスの影響で思うように稽古ができず残念な思いをしていましたが、春からはメンバーそれぞれが担当する配役の性格や特徴をつかみ、表現する稽古が続いています。前作「一休さん」から新たなメンバーが加わり、総勢10人で取り組んでいます。

8月8日(日)13:30 飯田文化会館1F

人形劇定期公演で成果発表

飯田人形劇場で地元の市民劇団が日ごろの成果を発表する「人形劇定期公演」。現在、人形劇講座に参加する劇団も上演を予定しています。ご家族・ご友人を誘い合ってお出かけください。

［人形劇定期公演］ 日程は変更になることがあります
9月23日(祝・木)、10月24日(日)、12月12日(日)、2022年1月23日(日)、2月20日(日)、3月13日(日)
※出演劇団など詳しい情報はその都度お知らせします
●問合せ／いいだ人形劇センター ☎050-3583-3594

すべての道は飯田へ通ず 第23回

飯田にしかないあたりまえ

パペットてなもんや　田中 直子

わいわいパレードでジャンルーカ・ディ・マッテオさんにからんでもらった！（写真中央が筆者）

初めて上演登録したのは２００６年、インターネット上で知り合った飯田の若いお母さんAさん・Iさんから「上演して～」と背中を押してもらったからでした。見に行くだけで楽しかった飯田で上演する?! 忘れもしません、緊張でどうにかなりそうでした！（笑）

そこから毎年、飯田に「ただいま！」と帰るようになり「待っとるでな！」「お帰り！」と声をかけてもらって、飯田行きを楽しみに1年を頑張るようになりました。

上久堅小学校3年生『9ひきのねこ』とジョイント公演（２０１４年上久堅保育園にて）

夜のサロン『シークレットライブ』にて。全国の劇人さんに入れてもらって

目の肥えたお客さんの多い飯田での上演はいつも刺激的で楽しく「良かった」と言ってもらうと「よっしゃ！」と嬉しくなりました（笑）。そしてなんと言っても楽しいのが地区公演。地域の皆さんの心のこもった会場作り！ 小中学生さんとのジョイント公演！ おもてなしのお料理をいただきながらお喋りする交流会！ 思わず「こんな風にされているところは全国にないですよね」とお話すると「え、そうですか？」と。「子どもの頃からあたりまえにやってるから～」と。

飯田にしかないあたりまえ、そんな宝物のような夏にまた帰れますように!!

次号はＪＩＪＯの阪東亜矢子さんです

Library Cafe　飯田とつながる世界の人形劇図書資料から㉞

日本人形玩具大辞典

帯に「人形劇」が見える、この『大辞典』は460頁の大冊、全2,300項目の内「人形劇」関連が「いいだ人形劇フェスタ」など約150項目含まれて、『人形劇の辞典』が存在していない現在、貴重な存在の辞典ともいえるだろうか。巻末の「関連施設」には飯田人形劇場などが、「関連文献」には約100冊の人形劇関連図書資料が挙げられている。

人形劇以外の項目も何かと興味深く、役に立つのだが、UNIMAが『世界人形劇事典』（仏語）を2009年に出版するも、日本の人形劇には未だ辞典も事典もない。すでに『人形劇図書資料目録』（2013年）は出せたので、次に『日本人形劇事典』が出ると、人形劇は辞典さえもないような分野からの脱皮となるのだが。

（人形劇の図書館館長・潟見英明）

日本人形玩具学会編
東京堂出版（2019年）

人形たちとつくるコミュニティスポット

ほっこり

人形劇の上演に向けての話し合い

新たにメンバーを加えて4月から新年度が始まりました。昨年は思うような活動ができず、今年こそはと意気込んでいます。今年度は昨年できなかったほっこり内でのミニライブや、飯田下伊那地域を中心としたアウトリーチ活動に力を入れていく予定です。

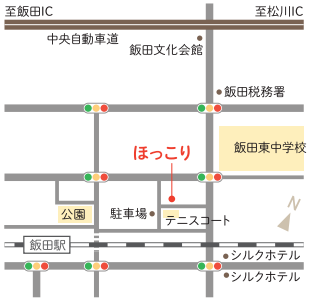
先日、長野県みらい基金の協力により、上伊那・諏訪圏域で居場所づくりの活動をしている方々とオンラインミーティングを開催しました。ほっこりでの取り組み内容と、居場所づくりで人形劇をどのように活用できるかについて話をしました。中学生・高校生が多い団体もあり、彼らに対してどのようにアプローチできるかを合わせて考える機会となりました。そして積極的に取り組んでいる施設への視察を兼ねて、人形劇公演やワークショップ活動を計画しています。

また上田市にある上田映劇の方とお話しした時に、「映画を通した居場所づくりをしている」と伺いました。飯田からは少し距離があるのでどのように連携できるかはこれからになりますが、県内に同じ文化・芸術を通した居場所づくりがあるというのはこちらも勇気づけられました。

飯田下伊那地域の居場所づくり施設とも出張公演などを含めて連携が始まっています。南信州圏域に南信州子ども応援プラットフォームがあり、学習支援や子ども食堂など50以上の団体が参加しています。ほっこりでは、例えば「何かしたいけど何をすればいいか分からない」「もやもやした気持ちをどうやって表現したらいいんだろう」など、普段の生活のなかで気になることを一緒に考えてもいきます。芸術の最大の魅力のひとつはいろんな人がいることですから。

最後にほっこり内では、現在スタッフを中心に人形劇の上演に向けて準備や稽古をしています。また動画制作ワークショップの参加者が定期的に通ってきています。本人の能力が高く、ほっこりにくることによってその才能を少しでも引き出せるように見守っています。

1年かけて種まきしたことから少しずつ芽が出てきました。



お問合せ
NPO法人いいだ人形劇センター
☎050-3583-3594 担当:木田
hokkoripuppet@gmail.com

開所時間：毎 週 火 曜 14:00～17:00
：第1・第3木曜 15:00～18:00
：第2・第4土曜 14:00～17:00
参 加 費：無料。時間内は自由に入退室できます
場　　所：飯田市高羽町2-5-1
（高羽町テニスコート向かい側）
10台収容できる駐車場あり

新しく看板ができました

休眠預金を活用した事業シンボルマーク（ほっこりのイベントにはこのマークがつきます

いいだ人形劇フェスタ2021

いいだ人形劇センタープロデュース

人魚姫

日時 8月8日(日) 11:00／14:00

場所 飯田市鼎文化センターホール

対象年齢小学生以上／全席指定

いいだ人形劇フェスタ2021の参加証ワッペン(700円)で観劇できます。

※観劇には参加証ワッペンのほかに、飯田文化会館窓口または、WEB「いいチケ」で事前予約が必要です

海の上の世界で出会った王子に会うため、人間の足をもらう決心をした人魚姫は魔女を訪ねます

人間の足をもらった人魚姫は王子と出会い、幸せなひとときを過ごします

脚色・演出の人形芝居燕屋くすのき燕さんによる演技指導のようす

2021夏

人魚姫とおいしい出会い

飯田下伊那の飲食店が人形劇「人魚姫」をイメージしたスペシャルメニューを期間限定で販売し、飯田発の作品を応援してくれます。スペシャルメニュー・店舗情報は、いいだ人形劇センターのFacebookをご覧ください。

※写真は2019年のものです

2年ぶりの上演

市民がつくる“飯田発”の人形劇

人魚姫

2015年の初演、2019年の再演ともにいいだ人形劇フェスタで話題を呼んだ作品「人魚姫」が、2年ぶりにフェスタのステージに帰ってきます!

今年は飯田下伊那を飛び出し、6月に行った県内ツアーでは2会場とも満席となり、観客を魅了しました。

ツアーのファイナルは8月のいいだ人形劇フェスタ。上演回数を重ねるごとに作品の魅力を増す「人魚姫」の世界を6月の上演より写真でお届けします。

人魚姫は手入れをする庭にある彫刻を毎日のように見つめます

今年4月に新築オープンした長野県立美術館(写真左・外観)の「オープン記念イベント」の一つとして上演しました

日本ウニマ通信 世界みてある記⑫

「リュブリャーナ人形劇場」

NPO法人人形劇ファクトリー　松澤　文子

リュブリャーナはスロベニアの首都で、人口28万人の穏やかで美しい都市です。

人形劇場の設立は1948年ですから、まだユーゴスラビアの時代で、国立人形劇場の一つとして誕生しました。1991年にスロベニアがユーゴスラビアから独立し、翌年1992年、わずか1年後にウニマ大会+フェスティバルが開催されました。これはとても驚きでした。

劇場は市の中心地にあり、現在は市立の人形劇場ですが、州が資金援助をしています。運営費は公的な援助が75%、入場料収入等が25%、毎回のことですがうらやましい限りです。従って入場料も低額で、子どもも大人も5ユーロ(650円程度)です。劇団員は62人。芸術監督1人、演技者22人、美術家8人、管理事務8人、音響・照明技術者12人、運転手・舞台スタッフ10人、劇場清掃1人です。年間子ども向け10作品・大人向け1~3作品を作っています。

劇場は900人収容できる立派なものです。確か小さな劇場やスタジオもあったと思います。また、人形博物館も持っている、素敵な劇場です。

リュブリャーナ人形劇場

劇場の屋根の塔にある「マーティン・クルパンと彼の牡馬」

舞台の様子